

普段の生活や介護に すぐに役立つシニアサイン

～いつまでもコミュニケーション豊かにつながる～



「いつも大声でしかられている」

耳が遠くなった人に何度も繰り返し大声で言っていると、この言葉が返ってきたことはありませんか？

シニアサインは声と一緒に身ぶりや簡単な手話をつけるだけで、大声で繰り返すよりも、簡単に正確に伝えることができる方法です。

【講師】 近藤 禎子 Yoshiko Kondo

NPO法人 生活支援サイン代表。元手話通訳者。
1995年より毎日文化センター（名古屋）手話講師。

著書『シニアサインー介護に役立つ楽々手話』、
『ベビーサインーゲーとパーだけで赤ちゃんとの会話』
（共に毎日新聞）

監修『身振り手振りで楽々コミュニケーションー介護に
役立つシニアサイン』（中央法規出版）



【プログラム】

13:00 ～ 受付開始

13:30 ～ 講演

- ・ 耳の遠い人との会話どうしていますか
- ・ シニアサインとは

実践編

- ・ シニアサインで話してみよう

16:30 ごろ 終了予定

【日 時】 10月19日（日）13:30～16:30

【場所】 COCO アイランド（通所介護・放課後等デイサービス）



- 交通
- 地下鉄鶴舞線：川名駅より14分
 - 地下鉄桜通線：吹上駅より14分
 - 市バス（栄17）（八事12）：「宮裏」バス亭下車徒歩5分

【参加費】 500円

【持ってくるもの】 特になし

【応募方法】 電話またはホームページで申込をしてください。

電話：070-5333-2194（担当 野村）

URL：<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a6cf8cc9318121>



【主催】 家族史交流会

URL：<http://www.kazokusuru.jp/>

家族史交流会について

家族史交流会では身近な家族や親戚、友人、知人、看護する人される人などの体験や見聞、生活文化、地域性、家族性、人生観、価値観、個性などを財産と考えています。

目的

身近な人の体験や見聞などの財産を使って、
豊かなコミュニケーション、人生の学び、健康につなげるために（生活の質の向上）
いろいろな専門分野の方々や地域の人たちが交流することを目的としています。

活動

イベントなどの交流会の開催

豊かなコミュニケーション

交流会を通して、参加者が身近な人たちと豊かなコミュニケーションをつくるきっかけができたらいいなあと思っています。突然の事故死もあるかもしれませんが、最期を迎えるときに信頼のおける身近な人が一人でもいることはとても幸せなことだろうと思っています。

人生の学び

身近な人の歴史は学校の教科書で習う歴史とは一味違い、身近な人の経験だからこそ肌で感じることができる生きた記録です。人の歴史は時代・地域・家族などと密接につながっているものです。若者世代にとって、家族史や身近史を日本史、世界史と重ね合わせることでものの見方や考え方を広げたり、深めたりすることでしょう。また、若者世代にとって人生の先輩であるお年寄りと接することで大切なものを学ぶ機会になるでしょう。

健康の維持と促進

お年寄りは自分の記憶を若い人々に伝え、受け入れられることによって自分自身の人生を価値あるものと再確認することにつながります。またお年寄りが話すことによって、健康の維持促進にもなります。